

平成27年度 第2回国立市中小企業等振興会議 要点記録

◇ 日時：平成27年10月23日（金） 午後7時～午後9時

◇ 会場：市役所 1階 東側臨時事務室

◇ 出席者：

- ・ 国立市中小企業等振興会議委員 13名（全員出席）
- ・ 事務局 3名

◇ 議事

- ・ 資料確認
- ・ 第1回討議内容（要旨）の確認
- ・ 第1回討議結果の確認
- ・ 「観光懇談会提言書「観光体系図」をもとにしたアクションプランの分類」（事務局原案）の説明
- ・ 「観光懇談会の提言を踏まえて観光体系図の整理」に係る意見・提案委員の説明
- ・ 「観光懇談会の提言を踏まえて観光体系図の整理」に係る討議
- ・ 次回の日程について

◇ 配布資料

- ① 次第
- ② 平成27年度 第1回中小企業等振興会議 要点記録 資料1
- ③ 観光懇談会提言書「観光体系図」をもとにしたアクションプランの分類（事務局原案） 資料2
- ④ 「観光懇談会の提言を踏まえて観光体系図の整理」に係る資料 資料3
- ⑤ 委員のご意見 資料4
- ⑥ 委員のご意見 資料5
- ⑦ 旭通り商店会ガイドマップ・はたけんぼ・くにたち直売 BOOK・ミモザ散歩

◇ 要点記録

会 長：事務局から、「平成27年度 第1回中小企業等振興会議 要点記録」を事前に配布していますが、特にご意見がなかったようですが、この場で何かありませんか。

市長の発言で2ページの13行目の観光バイスクールは自転車のことですか。

事務局：そうです。

（その後、特にご意見なし）

会 長：それでは、要点記録はこのまま確定します。今後の扱いはどうなっていますか。

事務局：第1回でご説明いたしましたとおり、ホームページで公開したいと考えております。

会 長：次に、前回の会議の決定等についてですが、事務局から説明願います。

事務局：前回の会議で、国立市観光懇談会の提言書の体系図をもとに、長期的、短期的にできるものに分け、アクションプランを整理して担当する団体や組織、ビジネスの視点も付加して、第2回の会議の検討資料のたたき台を事務局で作成するようご指示がありましたので、本日の「資料2 観光懇談会提言書「観光体系図」をもとにしたアクションプランの分類」(事務局原案)」を作成し、この事務局原案として、事前に各委員へお送りしているところです。

会 長：ここまでで何かありますか。ないようですので、本日の議題であります観光懇談会の提言を踏まえた中小企業振興策について検討審議に入ります。審議に入る前に資料説明をお願いします。

事務局：お手元にある資料は、次第、資料1(前回会議のまとめ)、資料2(事務局で作った観光懇談会の体系図をまとめて長期的、短期的にできるものに分け、アクションプランを整理して担当する団体や組織、ビジネスの視点も付加したもの)、資料3-1(事務局の作成した資料に対して委員から寄せられた意見を付加したもの)、資料3-2(委員から寄せられた意見の基礎資料)、資料3-3(委員のご意見)、委員から指摘のあった団体の資料で事務局が入手できたものとなっております。

会 長：資料が複雑になっているので、意見を寄せられた委員からご説明をいただいたほうが良いと思いますので、簡単にご説明をお願いします

委 員：事務局案(A3縦)では回転するスペースがなかったので90度回転させてA3横版で体系を考えてみたときに、思想・考え方がまず必要であると考えました。そこから展開していくために、最初に考えたのがA4縦版(資料3-2)の資料です。要するにコンセプトです。この表を頭に入れてA3横型の表を展開していくといいと考えた。市民の求めるもの=ニーズ、アイドマの法則のカテゴリー、ニーズがあればアクションが生まれ目的や資源や活動などが展開されていくのではないかと考えて、表を整理してみました。ニーズを考えたときに一番にくるのは何か、国立のまちについて調べてみたら、計画的に文教地区として条例に定められているもので、条例で規制されていることから、美しいものを眺める・求める・いかがわしいものは作らないという考え方があり、そこを大事にするべきだと考えました。文教地区から始まっているので文人墨客に近い方が多いと推察できるので、文化教養・見せる・発表のグループやクリエイティブな感覚をもたれる方を大切に今後展開していけばよいのではないかと考えました。どの範囲でやっていくのかは、自分の感覚で周辺地域も大事だが、大学通りなど核となるところを中心地として二重丸にしました。まちとしての営み=情報、健康志向のスポーツ。買い物ニーズ、お付き合いや食べたり飲んだり、レジャー、移動手段などを挙げて10項目ぐらいに

なりました。国立市のまち全体でやるのではなく、ある程度コアとなる場所が必要だと考えたところ、国立駅の北口・南口を自分で歩いてみて、駅前の大学通りはパリの凱旋門の南側のシャンゼリゼに通じる感があるので重要視するべきであり、安らぎ自然は毎日のことなので、通年で残せるほうが良いので、自然や街並みを大切にするまちであって欲しいし、ストリートファニチャーがあっても良いのではと考えました。観光資源としてプライオリティを考えると、大学通りと街並み景観を重要視すべきで、安らぎ空間として武蔵野の自然と谷保天満宮も同列に大事にすべきであると考えました。中小企業による地域産業資源活用法でも東京都の地域資源の中に国立市は大学通りと谷保天満宮が挙げられているので、これは無視できない。次にそれ以外として提言書からピックアップすると、街並み、豊かな自然、楽しめるイベント、文化的なところとしての文人墨客の利活用など4点ありましたので、これらで展開していくと、コンセプトはきれいなまち、安らぎのあるまち、小さいまちだが味があると考えてできたのが、A3横版の資料です。事務局の作成したA 国立市の観光・B 施策・C アクションプラン・D 短期的施策・E 長期的施策・F ビジネスアイディアの視点に、さらに右側に加えると展開できると考えて新しい施策などを追加しました。その時に、整理するやり方として当初の並べ方を見直して、中身は替えていませんが順番を変えました。プライオリティを考えて、コンセプトのA4版のペーパーをもとに並べ替えました。住みたいまち第一を目ざすことから、いつ来ても街並みに季節感があってよいのではないかと、そこから短期的施策として春夏秋冬を問わず、常にいつ来ても大学通りや路地に花があればヨーロッパ的でよいのではないかと。長期的には100年先まで美しいまちを目指す、住民と行政が一体となってそのような機運を醸成してはどうか、中央線沿線での事例がないからモデルとなるのではないかと思書きました。例えばHの欄ですが、春は桜、梅雨時期はあじさい、夏は朝顔、ひまわり、秋はコスモス、冬はシクラメン、プラタナス、ポイントセチア、住宅でのイルミネーション、駅前には梅があります。国立に降りた時に、2月や3月4月、夏や秋、12月に降りても花があるということを大学通りから展開できないかと考えました。そこで、花の植栽や花市等、市民参加型で希望者を募って大学通りから自宅の庭まで花が展開すればいいかなと思書きました。考え方が大切だと思うので、コンセプトと書いたA4縦型の資料から、A3横型の資料へ展開してきたということです。

会 長：ありがとうございました。この後、他の委員にもご意見いただきますが、今日の会議の着地点として41あるアクションプランの中から絞り込んでいきたいと思書します。また投入できる資源に限界があり、すぐにでもできるものはすぐにでもやってもらい、時間をかけて条例を作ったり、資金を用意してもやりたいことなど、優先順位をつけて絞込みをしていきたいと思書します。委員の提案にあるとおり、プライオリティをつけて絞り込んでいきたいと思書します。では次の委員お願いいたします。

委 員：資料2を見て考えていましたが、私の職場には約200人社員がいて、国立に住んでいる者もいますし、市外から通っている人もいます。それで、なぜ国立にいるのか、国立のどこがいいかを聞きましたが、景観が美しいからということでした。景観が美しいだけでは商売

にはならないです。だけど、人がいっぱい集まればいけば何か商売になるかもしれないといろいろと考えてやっているところです。

実は、私の職場には花壇がなく、土の部分が草がぼうぼうなので草むしりをやろうということになり、社員からそれだったら、草をむしった後にひまわりを植えましょうということになりました。モデルとして春先のNHK学園さんの植栽がありました。7月になっていたのでひまわりは無理でしたが季節の花を植えたら、お客様の反応が大変によかったですさらに、近所の方から北側もきれいにしたいという要望がありました。このことから街の方はきれいな環境を求めているのだと思います。他の委員のご指摘の通りです。

また、まちの方と話す機会がありましたが、今年は、桜が咲いていた期間が1週間で商売にならなかった、もっとお客さんが来てくれると思ったが来なかった、また数年前の国体の時に作った冊子で桜通りの店が紹介されたが、桜がなければここまで足を運んでもらうという集客に繋がらなかったと思います。このことから考えると他の委員の並び替えた順番(資料3)、きれいなまちを作りましょうということになりませんか。

桜の下につつじを植えているが、つつじは日当たりがいいところでないと咲かないと聞きました。桜の下にあじさいを植えたら、桜のあとに紫陽花を見に散歩に来る人も増えていいと思います。まちの皆さんが愛してくれることをやらないといけない。100年愛されるまちを目指すことが大事なのではないでしょうか。

資料にいた部分についてお話しします。

朝顔市がありますが、秋や春に花市を開催する、地元の花屋さんや農家の方の協力を得られれば、しっかりしたことができるのではないかと。それでまちの方があちらこちらに花を植えてくれれば、国立はどこ行ってもきれいだということになり、たくさんの方が普段から来てくれるのではないのでしょうか。国立市は梅の花とイチョウが市の木ですが、市民に2番手・サブの花を募集してもらって植えてもらえればいいかなと思います。住民の方が大学通りの桜の下に花を植えてくれれば、きれいだと思いますし、街を愛していただくことが大事です。

犬の糞についても意見として書かせていただきました。

空き家について宿泊施設を作ると言うことで、夏休みのショートステイの場所として活用してはどうですか。家族で泊まって、朝ごはんを国立市内で食べてもらい、朝食後は自転車で南部地域に行って農業体験、帰ってきて市内のどこかで昼ご飯を食べてもらい、午後には子供は一橋大学の学生さんや市内の塾やゼミで勉強できる。をみてもらい、お母さんはカルチャースクールに参加してもらい、お父さんは通勤してみてもらい。新宿まで40分の国立を体験いただく、良かったら住んでもらう。よかったら国立に住んでもらう。

ハコものを作るなら、空き家がたくさんあるよだから宿泊施設を作るというところに、空き家を使うことを提案しました。空き家の使い方として社員研修や異業種交流会などをやってもらったらよいのではないのでしょうか。

最後に一番下に書きましたが、どのような観光客が国立の街にマッチするのでしょうか。市民の皆さんの望む観光のお客さままででしょうか。

経験ですが、銀座の入り口の新橋郵便局の前に外国の方の観光バスが何台も止まり、そこがゴミでいっぱいになります。国立の方が本当に望む観光を創らないと、猥雑なまちに

なってしまう。猥雑な観光客を求める外からの猥雑な資本が来てしまい、住民が愛する美しいまち並みにはならないのではないのでしょうか。

最後に、バリアフリーでお年寄りが散策できるまちになれば、いろんな意味で商売も、うまくいくのではないかと思います。

会長：実際にアクションを起こされていることを踏まえたご意見でしたが、絞り込みとしてはきれいなまち、バリアフリー、空き家の活用、外国人の受け入れに関することが挙げられていると思います。それでは次の委員お願いします。

委員：既にだされている点で、具体的に個人・お店・グループが活動している内容の紹介について、情報提供をさせていただきました。個々の活動内容については、資料に記載されたリンク先をご覧くださいれば判ると思います。非常に国立は個人で行動できる人が多くて、自分たちで何かやりたいと思ったら、仲間内や仲の良いお店の方同士で、わーっととりあえずやっちゃいます。ただし発信力が小さく、まだまだこれからなので、それらをまとめ国立全体としてどーんと発信していける場が必要です。散歩やサイクリングというくくりで、アートを楽しめる、景観や花を楽しめる、スポーツを楽しめる、田舎の風景、野菜を楽しめるようであれば良いのではないかと思います。大学通りの景観についてですが、今年大学通り商店会でハンギングバスケットコンテストを2回ぐらいやられたと思いますが、とても好評だったそうなので、そのコンテストをさらに大きくしてエントランスや窓辺など、通りに面したお店やお宅のグリーンカーテンも含めたコンテストをやってみてはどうでしょうか。バラの季節に、個人のお宅で自宅の庭のバラ園を友人などに開放している方がいて、週末には演奏会をやっていたり、道に対してオープンに庭を作っている家もあるので、スペインのようにある一定の期間を設けて、一般の観光客に庭を公開するというものがあったらいいのではないかと思います。イルミネーションが人気ですが年明けで終わってしまうので、内容を変化させたりスポンサーを募ったりして、もう少し長くできればよいのではないのでしょうか。今年はLINKくにたちというスポーツの催し物で盛り上がったようですが、くにたちでスポーツと言うイメージはないけれど、市内に意外とスポーツが好きな人が多いので、オリンピックもあることからスポーツくくりのイベントがあっても良いのではないかと思います。国立に散歩や買い物に来て、お金を落としている世代は50・60歳代のシルバーではなく、プラチナ世代の奥様方が多く、もちろん国立市民もいますが周辺の自治体から来ている人も非常に多い。月1回美容室に来て、帰りに洋服を買ったり、雑貨屋に寄ったり、ランチをしたり、お茶したりして帰られる方が多いので、そのような人たちが興味をひくようなイベントなどを考えられればよいと思います。ただし、そのことを謳うとアウトなので、シルバー世代向け商品と言うと商品が売れないのと同じで引かれてしまいますので難しい。国立淑女会という40歳以上で楽しく美しく生きていまいしょうというような会の会長がミセス日本コンテストに出場しているのですが、海外で60歳以上の人のファッション写真集や映画などがブレイクしていますので、これもねらい目ではないかと思います。今まで説明した世代の人たちが興味を持つようなアートや景観、お店などのマッ

プとスケジュールが必要だと感じます。意見も含めてお話いたしました。

会 長：ありがとうございます。それでは次の委員お願いいたします。

委 員：手書きのメモ程度ですが、観光懇談会の存在も知らず、国立と観光を結び付けて考えたことのない一市民の考えです。自分が現在かかわっている色々な事業では、人の活用が一番問題だと思います。人の活用、人を育てる、そして結びつけるということが、提言のどの場面でも必要となってくると思うのでベースとして行っていくことが大事だと思います。

会 長：ありがとうございます。事前にコメントを出していただいた方からご説明を伺ったところで、さらに検討を加えたいところですが、時間もありませんので絞り込という優先順位をつける議論をお願いします。アクションプラン同士は表題を超えてつながりが出来てきているので、1項目だけでは残すのが難しいものも選ばれる可能性もあります。そこで、絞込みの方法ですが、41のアクションプランについて、後ほど順番で残すかの残さないかの投票、手を挙げてもらって優先順位を決めることとしたいと思います。それでは、今までの説明についての質問をお受けしたいと思いますが。

委 員：本当にみなさん素晴らしいお考えです。実は私は花屋をやっている国立市に60年以上住んでいます。理想的な姿をご説明いただきましたが、桜の下にあじさいは育ちません。本来木の下には植物は育ちません。たださくら通りの郵便局あたりの北側は西日がさすので、まだいいですが反対側は難しい。でも発想的には花は絶対使っていただきたい。

委 員：植栽で根物を植えるだけでなく、プランターや鉢などを植えるということも考えられますのでキーワードは花とかフラワーになるのではないのでしょうか。

委 員：種を蒔くことは非常に難しい。ただイベント事業として種を蒔くというのはすごく良いことだと思います。費用もかからないが9割がた失敗するので、専門家にアドバイスしてもらう必要があります。子供の頃から住んでいるので、小さい時にママ下のハケなんかでザリガニを取ったりしていましたが、今の子供たちにはそれがないので、できれば谷保天満宮から古民家までを遊歩道のような感じにして、人の流れが作れて子供たちが常に集まっている姿があればいいのではないかと思います。子供が集まる場所には大人も集まるから観光にもつながるのではないですか。資料のまとめ方もすごく良くて、優先順位も言うことなしだと思います。

会 長：ありがとうございます。さきほど質問と言いましたが、意見でもどちらでも結構です。

委 員：資料3-1のFの大学通りの車道と自転車道を仕切るプランターを市民に貸し出すとありますが、将来的に市は撤去の方向だと思いますが。作った当初から危ないと言う意見

もあり撤去の方向で進んでいるようですが。

委員：議会の中で、現在一方通行の自転車道を相互通行にするにはプランターをどかす必要があるという考え方があります。

委員：相互通行になるとバスの乗り降りが大変ではないですか。

委員：プランターを取ればかなり幅が取れるので、自転車の相互通行が可能となるという考えです。

委員：委員が上げられたプライオリティ1位、2位の植栽については、実際に市の花と緑と水の係が担当で、協議会が設立されており2年間活動しています。商業地域である大学通りでは検討会も作られて、桜守と併せて実際に植栽等も進んでいるので、そこの兼ね合いを取ったビジョンを進めて欲しいです。より効果的に訪れた人が喜んでもらえるよう、それぞれが平行線で進むのではなく併せていければいいと思います。

委員：前回もお話したかもしれませんが、観光としてやっていくということは外からお金を持ってくる、中の産業とは別に観光資源に対して外のお客様にお金を払ってもらうということが、観光の事業としての目的だと思います。観光懇談会でも国立の景観、大学通り、谷保天満宮などに対して外からお客がお越しになると言う議論がありました。まちづくりとして景観を守っていくことも国立市として掲げているが、景観を美しくする、花を植えるというところだけではつながらない。そこに来た方をどのようにして商店や飲食店へ導くかが観光の中小企業振興には必要かと思います。植栽を植える、誰が植える、その費用はどうするかということで、それを賄えるだけの外貨を稼ぐ手法や植えたことで来てくれた人がどこにお金を落とすかという点が重要で、花を植えれば人が来るということで終わって済ます話ではない。連携と言うことで、例えば天下市の開催中に矢川はどうしているのか、谷保はどうしているのか。人づてに聞くと連携はされていない。例大祭では地域の神輿が出たりしてやっているが、例大祭に来たお客様を国立市内のどこをめぐらせるという点では欠けている。大学通りに出店が出る。矢川でサマーフェスティバルをやっている。その時に谷保は何をやっているのか。天下市に来た人が大学通りだけで終わらないで、谷保まで足を伸ばしてもらって、矢川でご飯を食べて帰るという導線は、連携していないと難しいと思う。面白いことをやる人は多い、大学通り、谷保、旭通りの商店会でもいろいろと企画をされているし、いろんなことに通じているが、市役所も含めてPRが苦手。市内の人に向けたものであれば、ある程度の人に来るという点では国立はうまいです。人のつながりで自分たちがやることについて参加される人は多い。商店会をまたいだ市内全体で何かをやってそこに来てもらうというPRはうまくない。やっているけど知らない。例えば、谷保の城山で野菜を売っているが知らない。ちょっと離れたところで子供達のイベントをやっているけど知らない。PRということが重要で、行政がやるのか観光まちづくり協会というところはあるが、稼ぐチャンスを失わ

ないこと、きちんとまわすことで観光という形になる。国立は魅力を出すことは既にたくさんしているので、それを繋げていってチャンスをつかむという点で PR が重要だと思います。出せる人材は多いが、その人材を生かして商売や観光に繋げていける人を育てていく人材育成が重要だと思います。外してならないのは、くにたちらしさです。極端な話ですが桜じゃなくて違うものを植えて、奇抜なことをしたらもっと人が来てくれるという考えは違うと思います。住民はくにたちらしさの中で住んでいて、その中の範囲で観光したいと思っていますと私は思っています。今ある中で魅力を失わない形で PR をすれば人は来る。市内のイベントには、そこそこ遠いところから人づてで来ているので、PR してきちんと商店や飲食店につないでお金を落としてもらおう。国立の問題なのは宿泊施設がないこと。宿泊施設が外貨を一番落とすツールですが、その点は見ないで、それでもくにたちに来てもらおうまちづくりもありますが、宿泊のメリットや金額をみながら、その点も考えたほうが良いのではないかと思います。

会 長：人材育成や PR 活動についてお話がありましたが、PR 活動については資料にもありますので、後ほどアクションプランを選ぶときに意見が分散して PR 活動の項目が残らないかもしれませんが、単品ではなく総合的な取り組みということが大事だとご理解いただければと思います。

委 員：観光懇談会としての補足として、観光懇談会の資料の表は中小企業振興のためのものではなく、国立市の観光として思い当たるところや、こういうことがあったらいいのではないかとところを含めて入っており、この場で協議する内容としてはだいぶ外れているものもあります。市役所で取り組んでもらうことや、まちづくりとしてやってゆくことも含まれているので、その中から中小企業振興の部分を抜き出していただければと思います。

会 長：まさにそのとおりで、中小企業等振興会議ですので絞り込みに当たっては中小企業の振興に寄与する施策、アクションプランということでお願いしたいと思います。残り時間もありますので、投票タイムに進みたいと思いますが、その前に何かご発言がございすか。

副 会 長：今回は、観光懇談会で国立の観光をどうあるべきか幅広く論議して、それを中小企業振興に結び付けるということなので、その辺のイメージが私もわかっていないので、市の意図、こういう角度だからこういう問題を提議したという説明を受けたい。商工業のうち、商店は商工会でかなり活性化が図られているが、企業については弱く連携が進んでいない。力強いまちにしていくにはそれが一体にならないといけない。外からお客さんを呼ぶのも大事だが、本当にまちが元気になるということは、まちの収入、納税額が上がり暮らす人たちを支える財源が担保されることを含めて大事なのではないのでしょうか。企業が連携するという点でも、商店を営む商店街に入っている人以外は、なかなか組み込まれていかない気がするんです。今回の会議をどこにポイントをおいて考えているの

かを説明してもらいたい。そうしないと焦点が合っていないのではないか。観光懇談会の提言を踏まえて体系の整理をするといっても広がってしまうので集約していくためにも必要ではないですか。

事務局：資料1に、前回の会議記録がございますが、2ページで会議を招集した市長が今回の中小企業等振興会議にお願いしたいことが書いております。特に一番上に書かれている中小企業振興に役立つタイムリーな案件を抽出して欲しい。また、時局的にタイムリーなものだけでなく将来の当市の礎となるような考え方も示して欲しいと2つの考えを示していただきたいとお願いしています。観光懇談会の提言は中小企業の振興について書かれたものではありませんが、振興に役立つエッセンスが含まれているので、委員のご意見のとおり切り分けていただくと、儀労を進める上で役立つ資料が出てきました。市長がお願いしたタイムリーな案件と若干時間をかけてもやっていく案件についてご審議いただくのがこの会の趣旨だと考えております。そのために、今回委員の人選にあたり、中小企業に関する学識経験者、商工会や市内商工業者という市内をよくご存知な方、観光まちづくり協会から推薦を受けた観光についての見識をお持ちの方、観光懇談会の提言書に込められた思いを伝えていただくための観光懇談会委員の方、売る側だけでなく買う側の意見をいただかないとニーズと合わないので消費者団体からも代表として委員を選出していただいておりますので、市としては最強の布陣でご意見を取りまとめているものと考えております。

会長：時間もございますので、投票でアクションプランの抽出をしたいのですが。

事務局：投票についてですが、資料2の観光懇談会の提言書のアクションプランの番号は、資料3-1のCアクションプランのうち、委員が新たに提案された「住民による通年を通した美しい街づくり（審美性の高い）機能を醸成する」を0番とした以外は同じ番号ですので、資料3-1をもとに投票していただくこともできます。

委員：資料2の施策⑩「行政・議会も住民と共に学び住みたい街1位を目指します」が、資料3-1では⑩「住民と共に美しい街、住みたい街、第1位を目指す」（一部修正）となっていますが、観光懇談会では行政や住民だけではなく、議会にも観光について考えて欲しいという考えで、体系図の一番下のできるだけ目立たない場所に入れたというところの意図も汲んでいただければ。

会長：観光懇談会としては、⑩についてはそのような意図を含ませているということですが、委員の案については議会の要素はどのようにしていますか。

委員：その点は抜かしましたので、私の案には一部修正と書かせていただいております。

会長：一部修正が今のところと電線類の地中化にあります。その点はお含みいただいて、中

小企業の振興に寄与することをもとに挙手をお願いいたします。
(結果については次ページ)

投票結果（挙手に回数制限なし）

挙手人数 (点数)	アクションプランの番号 (0～41)
0人 (0点)	38.バリアフリーやユニバーサルデザインの推進・公共のトイレ環境の向上 1.くにたち検定を実施する 2.歩くだけで賢くなる取組みをする 3.まちゼミ・市民講座を充実する 8.海外交流による異文化学習の場を増やす 9.テーマ型コミュニティスペースを増やす 15.(電子掲示板を含め) 掲示板を設置する(インターネットを利用しない方などに対して、スーパーなどに掲示板を設置して、情報を発信していく) 18.クラウドファンディングを活用する 22.B e d & B r e a k f a s t 施設の整備をする 24.市民全員が観光セールスマンになる 25.スチューデントハウスをつくる 28.看板などを多言語表示にする 30.多国籍マップを作成する 31.駅前にウェルカム看板を設置する
1人 (1点)	16.映像制作に力を入れる(教育コンテンツで国立らしく) 29.出会いをテーマにしたマップを作成する
2人 (2点)	10.高齢者と子供が交流できる場をつくる 23.観光大使を任命し、市をPRする
3人 (3点)	27.商工観光係から観光課へ組織体制を強化する
4人 (4点)	34.マルシェスペースをつくる 14.ご当地キャラクターを活用する 26.異業種交流会を開催する
5人 (5点)	40.電線類地中化を進める(一部修正) 4.大学通り等のスペースを活用して参加型イベントを充実する 20.谷保・矢川に自然体験できる宿泊施設をつくる 21.空き家を活用する(空き家バンクをつくる)
6人 (6点)	36 農商工業者の連携を強化する 6.教育・音楽イベントを充実する 32.駅前観光案内所をつくる
7人 (7点)	41.谷保天満宮までの道を整備する 13.イベントの年間スケジュールの作成を強化する
8人 (8点)	38.バリアフリーやユニバーサルデザインの推進・公共のトイレ環境の向上 39.自転車置き場を増やす 5.参加型イベントを充実する 12.W i - F i の環境整備をする 17.国立ブランドを充実する
9人 (9点)	37.大学通りの植栽整備を更に進めていく
10人 (10点)	7.市内学校・専門学校との連携イベントを充実する 19.各店の情報を取りまとめ、発信を強化する
11人 (11点)	35.個人店同士の結びつきを強化する
12人 (12点)	0.住民による通年を通じた美しい街づくり(審美性の高い)機運を醸成する 11.観光ホームページを充実させる
13人 (13点)	

会 長：結果発表を、得票数の上位から発表して下さい。

※事務局から結果発表として、得票数とアクションプラン番号とその内容を報告した。

会 長：7票以下については時間の関係もありますので、発表は結構です。さて、ここまでで11のアクションプランが上がりましたので、これを参考に次回の会議に向けて事務局のほうで、すぐにできるのか、研究や準備が必要か、予算がどれくらいかかるのかという具体的な展開の可能性や条件を検討していただきたいのですが。

事務局：承知いたしました。

会 長：次回は、事務局の検討結果をもとに進めます。次回第3回は1月26日（火）19：00から21：00で決定いたします。その他で何かありますか。

委 員：ご提案ですが、先ほどお話した花と緑の委員会以外にもいろいろな委員会があるので具体的な意見が出ていると思うので事務局で調べてもらって委員に回してもらったらどうでしょうか。

事 務 局：承知いたしました。今回同様に次回についても他の事例も含めて情報提供させていただき、次回の会議には委員の皆様の見解を最大限反映した資料をご提示するよう努力いたします。

委 員：1年かけて観光懇談会をやり観光のニーズやエッセンスを盛り込んだつもりですが、この会は中小企業振興ということですから取り込まないことでも、多国籍マップの作成や多国籍対応について、商工会等でも進めていただければと思います。

委 員：参考にお持ちいただいた旭通り商店会の紹介の冊子ですが、お店の紹介ではなく店主の紹介なので、誰が売っているかにクローズアップした冊子で評判もいいのでお配りしましたという補足と、委員のお話しのあった個人や店舗のネットワーク化について、国立市全体で考えていければと思いますので別枠で検討していただければと思います。

会 長：それではこれで終わります。